



(写真) Shutterstock “ベネズエラの原油輸出 10月は日量95万バレル、制裁緩和の撤回後も増加続く”

2024年11月1日(金曜)

政治

「[マドゥロ大統領 治安当局に輸送機器を供与](#)」

経済

「[ロイター 10月原油輸出は日量95万バレル
～2020年以来、4年ぶりの高水準～](#)」

「[米EIA 8月原油輸入量は日量26.1万バレル](#)」

「[24年1～9月の原油輸出額は113億ドル](#)」

「[スペイン ベネズエラは10番目の原油輸入国](#)」

社会

「[ラスメルセデス地区にMeme新店オープン](#)」

「[ククタ ベネズエラ人買い物客減少で経済に打撃](#)」

24年11月2-3日(土・日)

政治

「[マドゥロ大統領 MCM氏の所在について言及
～パナマかコロンビアに逃亡した?～](#)」

経済

「[SENIAT 10月の徴税額は先月比17%減](#)」

「[タチラ州 イランに食肉1.1万頭分を輸出](#)」

「[経済特区にイランの光ファイバー企業が進出](#)」

「[ロンサンタテレサ 高所得者層向け商品再販](#)」

「[JAC Motors 新モデルの販売を開始](#)」

社会

「[11月 祖国システムの補助金支給予定額](#)」

2024年11月1日（金曜）

政治

「マドゥロ大統領 治安当局に輸送機器を供与」

11月1日 マドゥロ大統領は、警察・国軍・消防隊ら治安維持部隊に対してバイク・自動車を提供する供与式を実施した。

この供与式には、ディオスダード・カベジョ内務司法相、シリア・フローレス大統領夫人らも同伴した。



（写真）大統領府 Telegram

今回供与された自動車が、どこのブランドのものか判別することは出来なかったが、バイクは映像で確認できる限りでは「Moto Morini」のバイクと思われる。

「Moto Morini」はイタリアのバイクブランドだが、ベネズエラでは現地バイクメーカー「Bera」が販売に参与しているようだ。

マドゥロ大統領は、供与式にて警察・軍関係者に対して「極右グループは、再びベネズエラで混乱を引き起こすために外国にいるベネズエラ移民に対して多額の資金を投じている」「大統領選後に起きたような暴動を繰り返そうとしている」と警告。

「ベネズエラに平穏をもたらすために治安部隊の活動が不可欠」と出席者らに協力を求めた。

経済

「ロイター 10月原油輸出は日量95万バレル
～2020年以来、4年ぶりの高水準～」

ロイター通信は、2024年10月のベネズエラの原油輸出について報じた。

ロイターによると、10月のベネズエラの原油輸出量は先月比21%増の日量94万7387バレル。過去4年間で最も多い輸出量だったという。

輸出量を上げた主な要因は、米国・インド向け輸出の増加。

Chevronによる米国向け輸出は、日量28万バレル。Chevronが2023年に事業を再開してから最も多い輸出量だった。

また、PDVSAによるインド向け輸出は、日量14.1万バレル。

中国は引き続き主要な原油輸出先で、日量38.5万バレルを輸出したという。なお、9月の中国向け原油輸出は日量45万1500バレルだったため、中国向けの原油輸出量は先月よりも減ったようだ。

他、エネルギー不足が深刻な問題になっているキューバ向けにも原油輸出が続いており10月の輸出量は日量2.8万バレルだったと報じている。

他、10月の石油製品・石油化学製品の輸出量は31万4500トン。先月の26万7000トンから17.8%増えた。

「米 EIA 8月原油輸入量は日量26.1万バレル」

米国の「エネルギー情報局 (EIA)」は、24年8月の米国の原油統計を更新した。

EIAによると、米国のベネズエラからの原油輸入量は日量26.1万バレル(下グラフ参照)。

今年に入ってから最も輸入量が多かった24年7月(同30.8万バレル)からは15.3%減だったが、前年同期の日量13万バレルから100.8%増となった。

また、米国向け原油供給国としては、カナダ、メキシコに続いてベネズエラが2カ月連続で3番目。ただし、石油製品も含めた燃料供給国としては5番目だった。

Year	Jan	Feb	Mar	Apr	May	Jun	Jul	Aug	Sep	Oct	Nov	Dec
2000	1,051	1,198	1,209	1,176	1,102	1,207	1,159	1,429	1,075	1,293	1,358	1,419
2001	1,431	1,250	1,384	1,333	1,312	1,297	1,445	1,374	1,041	1,288	1,144	1,178
2002	1,233	1,222	1,148	1,014	1,117	958	1,341	1,514	1,302	1,453	1,453	652
2003	399	559	1,149	1,387	1,491	1,381	1,150	1,345	1,307	1,295	1,352	1,340
2004	1,298	1,294	1,343	1,372	1,371	1,439	1,228	1,194	1,070	1,330	1,237	1,379
2005	1,376	1,357	1,322	1,391	1,323	1,292	1,327	1,332	1,073	911	1,009	1,183
2006	1,228	1,223	1,185	1,171	1,169	1,008	1,191	1,151	1,129	1,125	1,088	1,045
2007	955	1,115	1,036	1,182	1,232	1,135	1,167	1,136	1,127	1,221	1,227	1,246
2008	1,117	945	858	1,019	1,030	1,085	1,187	1,146	944	1,027	1,080	1,028
2009	1,172	960	949	803	1,028	1,134	904	1,007	1,014	879	793	772
2010	827	913	984	851	1,011	850	1,016	974	919	887	884	825
2011	951	878	957	902	895	1,012	877	806	759	862	707	810
2012	683	890	936	835	821	756	1,033	977	1,002	928	1,032	1,054
2013	871	579	742	811	674	838	871	603	777	721	759	798
2014	661	757	724	781	716	699	852	804	756	627	744	680
2015	615	736	803	769	850	700	778	849	826	748	799	840
2016	650	726	773	741	752	673	851	715	778	724	797	718
2017	704	679	701	812	708	616	655	555	545	510	505	437
2018	438	409	480	561	490	552	505	462	650	506	511	500
2019	561	242	47	114	11							
2023	40	58	109	140	185	126	153	130	163	166	147	161
2024	152	142	177	209	224	226	308	261				

「24年1～9月の原油輸出額は113億ドル」

エネルギー専門メディア「Petroguia」は、2024年1月～9月の PDVSA の原油輸出による請求済み収入額について、前年同期比12.5%増の113億ドルだったと報じた。

収入増の主な要因は、輸出先の増加および Mery 原油の価格上昇。

Petroguia によると、2024年の平均原油輸出量は、前年比5%増の日量72万3100バレル。平均原油価格は1バレル67ドルで前年よりも4ドル／バレル高く取引されているという。

前年よりも輸出は好調ではあるが、8月、9月から原油輸出量がやや停滞しており、5月から原油価格も下落傾向にあるため、収入が伸び悩んでいるという。

米国は24年4月に制裁ライセンス No.44-A を発行。2024年5月をもってベネズエラ石油産業への制裁緩和措置を停止した。

個別企業に制裁ライセンスを発行することで、Chevron、Repsol など一部企業の取引は許可しているが、制裁緩和措置の停止により原油輸出量および原油価格に影響が出ているものと思われる。

「スペイン ベネズエラは10番目の原油輸入国」

エネルギー専門メディア「Petroguia」によると、2024年1月～7月にかけて、スペインがベネズエラから輸入した原油量は前年同期比161%増の日量14万3400バレル。

スペインの原油輸入国としてベネズエラは10番目に入った。

「Repsol」は、2022年7月からベネズエラ産原油の輸入を再開しており増加傾向にある。

2023年当時、スペインのベネズエラ産原油の輸入量は同国の原油輸入シェアの2.25%を占めるのみだったが、24年1～7月時点で4.45%まで拡大している。

社 会**「ラスメルセデス地区に Meme 新店オープン」**

9月30日 カラカスのラスメルセデス地区にフランス菓子店「Mémé」がオープンした。

菓子店といっても夕食のコース料理、ケータリングなどもあるようで、日本人駐在員やその家族も1つのオプションとして利用できるかもしれない。

場所は、Calle California, Planta Baja del edificio California Mall, Las Mercedes

土日祝日も基本営業（午前8時～午後8時）

[「Mémé インスタグラム」](#)





Fotos Swuany Uzcátegui

Gomez 氏曰く、ベネズエラ人の購買力が低下した事で、ククタでの買い物客が減少しているという。

なお、ククタの人口の28%（約23.5万人）は、ベネズエラ人で、その多くは不法移民のため定職に就くことが出来ず、インフォーマルセクターでの労働に従事しているという。

2024年11月2日～3日（土曜・日曜）

政治

「マドゥロ大統領 MCM 氏の所在について言及
～パナマかコロンビアに逃亡した?～」

10月14日 マドゥロ大統領は、野党のリーダーであるマリア・コリナ・マチャド氏（以下、MCM）がベネズエラから出国していると指摘していた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1129」](#)）。

ただし、この指摘について MCM 氏はインタビュー番組で自身の所在について聞かれると、

「私はベネズエラ人とともにここにいる」「もちろん私自身を守っている」「ベネズエラ国民は私がベネズエラにいることを知っている」と回答。

マドゥロ大統領の指摘を否定していた（[「ベネズエラ・トゥデイ No.1130」](#)）。

本件について、マドゥロ大統領は再び言及。

「彼女は逃げた」「彼女はいなくなった」
「彼女はコロンビアかパナマのあたりを徘徊し、ベネズエラを攻撃する周辺国の大統領と会議をしている」
「彼女は制裁やベネズエラへの侵略を要請している売国奴だ」

と批判した。



Los mini pie de limón. Foto Swuany Uzcátegui

Tartaleñas de higo



Las técnicas son francesas. Foto Swuany Uzcátegui

Los cheesecake en versión miniatura. Foto Swuany Uzcátegui

（写真）El Estimulo

「ククタ ベネズエラ人買い物客減少で経済に打撃」

ベネズエラとコロンビアの国境近辺では、多くのベネズエラ人が買い物のためにククタ（コロンビア側）を訪問し、買い物を行っている。

しかし、国境経済に詳しい William Gomez 氏によると、この12か月ほどはククタに来るベネズエラ人買い物客が減少しているという。

ククタ地域の店の売上げの約60%は、ベネズエラ人買い物客で、残りの40%がククタの現地人ということもあり、ベネズエラ人の買い物客減少がククタ地域の経済に与える影響は大きいようだ。

また、ゴンサレス候補に対して
 「主犯格の老人はスペインにいる」
 「彼は何をした?」「国民の前に顔を出し、街頭に出たか?」「彼ら（野党が用意した工作人員）が人を殺害していた時、彼はオランダ大使館にいた」「そして逃亡した」
 「ひどいリーダーだ」と訴えた。

経 済

「SENIAT 10月の徴税額は先月比17%減」

「徴税庁（SENIAT）」は10月の徴税額を公表した。

10月の徴税額は、322億22万5241ボリバル。この金額は先月の徴税額、388億8840万4756ボリバルから17%減となる。

なお、11月1日付の公定レートでドルに換算すると7億5393万ドルに相当する。

「所得税（ISRL）」が、93.3億ボリバル（29%）。
 「付加価値税」が、117.1億ボリバル（36.4%）。
 「関税」が、73.5億ボリバル（22.8%）
 「その他国内税」が、38.1億ボリバル（11.8%）
 となっている。

表：2024年10月 ベネズエラの徴税額内訳

項目	徴税額 (千ボリバル建)	徴税額 (千ドル建)	割合 (%)
所得税	9,332,470	218,507	29.0
付加価値税	11,707,902	274,125	36.4
関税	7,349,593	172,081	22.8
その他国内税	3,810,260	89,212	11.8
合計	32,200,225	753,925	100.0

(出所) SENIAT

「タチラ州 イランに食肉1.1万頭分を輸出」

タチラ州知事のフレディ・ベルナル氏（与党）は、イランに対して1.1万頭分の食肉を輸出することで合意したと発表した。

また、タチラ州だけではなく、メリダ州、バリナス州、スリア州からもイランへ畜産物を輸出する可能性がある」と補足した。

なお、畜産物の輸出に当たり、イランの Aalami Morteza 防衛相次官がタチラ州の畜産場を視察。

Morteza 防衛相次官は、「タチラ州の畜産施設の設備が整っており、輸出に最適な環境」との見解を示した。

「経済特区にイランの光ファイバー企業が進出」

ラグアイラ州（旧バリナス州）知事の José Alejandro Terán 氏は、同州の経済特区にイラン企業が光ファイバーの製造施設を建設すると発表。工場建設により地元の雇用が増え、輸出が拡大し、ベネズエラの技術発展を促進することが出来ると説明した。

経済特区に工場を建設するのは、イランの「Centro de Datos Modernos (MDC)」という企業だという。

今回の建設合意に関して、イランの Sayed Satar Hashemi 情報技術相もベネズエラを訪問していた。



「ロンサンタテレサ 高所得者層向け商品再販」

22年以上以上続いているベネズエラの老舗ラム酒メーカー「Ron Santa Teresa」は、高所得者向けの商品「Ron Selecto」を40年ぶりに販売すると発表した。

「Ron Selecto」は1983年に販売されたラム酒。元々バーボン樽として使用された樽を使用し、最長12年熟成させたライト・ラムとヘビー・ラムをブレンドしており、その洗練された風味は際立っているという。

販売数は限られており、商品の在庫が無くなり次第販売は終了するようだ。

チョコレートやラム酒はベネズエラのお土産の定番として喜ばれる。プレミアムなお土産として選択肢の1つになりそうだ。



(写真) Ron Santa Teresa

「JAC Motors 新モデルの販売を開始」

中国系ブランドの自動車メーカー「JAC Motors」が新モデル「Arena Pro」をベネズエラで販売する。同社は24年7月に「Savana JS8」の販売を開始したばかりで、連続の新モデル販売となる。

「ベネズエラ自動車商工会 (Cavenez)」によると、24年1～9月の「JAC Motors」の新車販売台数は3210台で、「TOYOTA」に続いて2番目となっている。



(写真) JAC Motors

社 会

「11月 祖国システムの補助金支給予定額」

マドゥロ政権は、祖国システム登録者に対して定期的に補助金支給を行っている(補助金の詳細は「ウィークリーレポート No.306」参照)。

マドゥロ政権は11月の補助金支給額の改定を発表。

各補助金の支給予定額は以下の通りとなっている。

- ・ Hogares de la Patria (家族持ちへの補助金)
2人家族 : Bs. 108 ~ 6人家族 : Bs. 324
- ・ Bono Economía Familiar : Bs. 126
- ・ Bono 100% Escolaridad : Bs. 126
- ・ Bono José Gregorio Hernández : Bs. 189
- ・ Parto Humanizado y Lactancia Materna : Bs. 252

以上